（様式２）

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	芦屋市立　浜風小学校 教諭　道頭　健一	研究グループ名 学び合う集団作り研究グループ	※採択番号

研究テーマ分類番号（　１　）

※県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ

「学び合う集団作りの探求」
～環境・授業づくりを中心に～

(2)研究経過及び具体的な取組

６月１２日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１４名
（１）内容　①研究グループの活動内容についての意見交流と確認
②学級経営方針についての交流
（２）成果　学級目標についてどのように子どもたちと創ったのかを交流し、掲示物の工夫を見回り、参考になった。

６月２０日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１０名
（１）内容　第６学年特別活動における学級活動の公開授業参観及び事後研究会
（２）成果　５年生からの継続的な指導により、児童は意欲的に討論できた。
児童が、短冊黒板を効果的に活用していた。
（３）課題　話合いの質を高める教師の発問を吟味する。

６月２４日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１１名
（１）内容　第２学年算数科公開授業参観及び事後研究会
（２）成果　教科書の文章題に使用されている言葉やテープ図の難しさについてどう理解させ、指導するかについて学べた。
（３）課題　学び合いになるには、まず自分の考えを話すことができる。次に自分の考えを理解してもらえるように話すことができるように指導したい。

６月２８日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１０名
（１）内容　第１学年特別活動における学級活動の公開授業参観及び事後研究会
（２）成果　自分ができたことだけでなく友達の良い意見を見つけて感想を発表できていた。「友だちのいいところを見つけられるのは自分にも取り入れられるからいいことだ」という教師の指導を児童が受け止めていた。
（３）課題　人の意見を聞きやすくするために、友だちの顔が見やすい座席の工夫が必要である。意見を変える場合は、理由を考えさせるように声かけをして発表する意見に責任を持たせていく。

８月２６日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１１名

（１）内容　１学期の実践交流

（２）成果　学び合う集団を創るための教師の手立てを交流し、参考になった。

（３）課題　その手立てを学年ごとに体系化して、共通認識の下、指導していきたい。

１０月　２日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１０名

（１）内容　第１学年算数科公開授業参観及び事後研究会

（２）成果　児童が自分の言葉で考えを積極的に話すことができていた。

（３）課題

①自分とクラスの人との考えを比べて発言する意識を育てたい。

②隣同士の２人組で説明し合う学習場面を意識して設定していきたい。

１０月２５日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１０名

（１）内容　第４学年図工科公開授業参観及び事後研究会

（２）成果　電動のこぎりの使用の仕方の指導はよくできていて、子どもたちは慎重に作業をしていた。

（３）課題

①一人ではうまくできない作業をずっと一人でやって失敗している子どもが多かった。友だちの手を借りるということが学び合いに繋がる。

②説明的な指導は、子どもの発言を促しながら、挙手していない子も指名したりして、集中力のない児童も揺さぶりながら行う。

③児童が、作品についての具体的な気づきが書けるような図工の学習用語を使ったふりかえりができるようなワークシートに変える。

１１月１４日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１０名

（１）内容　第３学年理科公開授業参観及び事後研究会

（２）成果　子どもたちが、実験して分かったことを丁寧に記録することができていて、書く力が育っていた。

（３）課題　書いた自分の考えをどのように交流させると考えを深めることができるのか、教師の指導法を検討したい。

１１月２０日　場所：芦屋市立浜風小学校　参加人数：１０名

（１）内容　第４学年算数科公開授業参観及び事後研究会

（２）成果　まずペアで次に班でと、段階を踏んで自分の考えを説明させる学習場面が設定されていたのが良かった。

（３）課題

①ペアや班で考えを説明させる際、即座に説明の聴き合いができるように子どもたちを育てたい。

②子どもたちから多様な考えを引き出せるような指導の工夫が必要である。